

科目名	長期インターンシップ		英文表記	Long Term Internship		2017/4/28		
科目コード	6021							
教員名: 眞喜志治、政木清孝 技術職員名:						修正		
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全コース			専2	選	学修	4-12単位	実習	集中講義
科目目標	①長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる ②高専で学んだことと働くことを関連付けて考え、企業活動の国内外に対する関連性・社会的責任を理解することができる ③就業経験および共同研究・受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる							
総合評価	研修(日報による評価40%)および研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する。60%以上を合格とする。 <b>履修に必要な書類:</b> 受入許可書および日程表(この提出をもって履修許可とする)、日報、派遣先からの評価書、報告書(様式任意)、報告書(学校様式2)、発表会資料、履修願							
科目 達成 度 目 標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック				
				理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック	
	40%	① 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる。	研修(日報による評価40%)および研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する	実務経験を通し、その内容を理解し、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる	実務経験を通し、その内容を理解し、職業意識を向上させることができる	実務経験を通し、その内容を理解し、日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)		
	30%	② 高専で学んだことと働くことを関連付けて考え、企業活動の国内外に対する関連性・社会的責任を理解することができる。	研修(日報による評価40%)および研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する	実務経験を通し、その内容を理解し、企業活動の国内外に対する関連性・社会的責任を理解することができる	実務経験を通し、その内容を理解し、高専で学んだことと働くことを関連付けて考えることができる	実務経験を通し、その内容を理解し、自らの役割(立場)について日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)		
30%	③ 就業経験および共同研究・受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる	研修(日報による評価40%)および研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する	実務の内容と意義について理解し、自ら考え、関係者と相談しながら、実務を遂行することができる、	実務の内容と意義について理解し、関係者と相談しながら、実務を遂行することができる	実務の内容と意義について理解し、意義に基づいて実務経験をし、その内容を日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	<専攻科教育目標> (3) 専門知識を基にした応用力を持ち、自ら成長できる人材を育成する			
	○		◎					

評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	100	0	100	
基礎的理解	①②③			25		25	
応用力(実践・専門・融合)	①②③			25		25	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①②③			25		25	
主体的・継続的学修意欲	①②③			25		25	
<b>授業概要、方針、履修上の注意</b>	<p>【概要】            学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。</p> <p>1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。            2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。            3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。            4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。            5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。</p>						
<b>教科書・教材</b>	教員作成資料、企業作成資料						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス		
2	インターンシップ先企業研究	9	企業研究、大学受け入れ先検討	企業・大学の調査	
3	インターンシップ	160	約4週間の企業研修・大学での研究		
4			①企業における多様性を理解し、自らの進路としてキャリアデザインを構築することができる	研修研究内容の自己研究	
5			②企業における社会的責任を理解できる		
6			③企業活動が国内外の他社との関係性を理解できる		
7	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書の作成・報告会資料作成・報告	資料作成・プレゼンテーション	
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験				
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23	後期中間試験(行事予定で週変更可)				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		180	実時間	135	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	企業内研修・大学研究での課題レポート			各2時間×5回	
②	課題発表(テーマに沿った課題について調べ、発表資料を作り、発表する。)			各2時間×5回	
③					
				計20時間	
<b>備考欄</b>					
(各科目個別記述) ・ 関連科目: ◎インターンシップ(4年)、卒業研究(5年)、特別研究(専攻科1・2年)					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)